

# 平成 25 年度 意見交換会事例集

平成 26 年 3 月

やまぐち食の安心・安全推進協議会

## 目 次

趣旨	.....	1
意見交換会の種類	.....	1
意見交換会の開催の流れ	.....	2
平成 25年度の意見交換会（まとめ）	.....	5
平成 25年度の意見交換会（個別事例）	.....	7

## 趣旨

「やまぐち食の安心・安全推進協議会」は、「山口県食の安心・安全推進条例」に基づき、県、市町、食品関連事業者及び県民が連携して、食の安心・安全に向けた取組を展開していくことを目的に平成 21年 9月に設置されました。

平成 24年度から、食品のリスクを考える意見交換会を開催しており、今後の意見交換会の参考としていただくため、平成 25年度の意見交換会の開催状況(全 15回)を取りまとめた事例集を作成しました。

## 意見交換会の種類

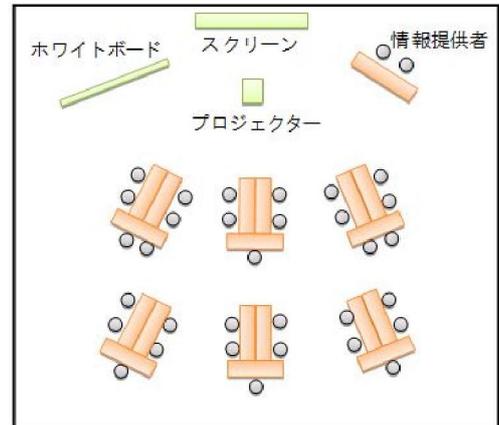
### 1 ワークショップ

参加者は情報提供を受けた後、グループ内で意見交換・討議を行い、その後、グループ発表、全体での意見交換を行い、知識・理解を深める。

(各グループに討議の進行役(ファシリテーター)を配置)

プログラム例(所要時間: 3時間 30分)

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション・アイスブレイク
0:15	情報提供(50分程度)
1:05	グループワーク(60分程度) (グループ内で意見交換・討議し、グループの考えや質問を模造紙にまとめる。)
2:05	休憩
2:15	グループ発表(20分程度)
2:35	全体での意見交換(50分程度) (グループ発表の内容及び質問について、情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。)
3:25	アンケート記入・閉会



会場配置例>

#### アイスブレイク

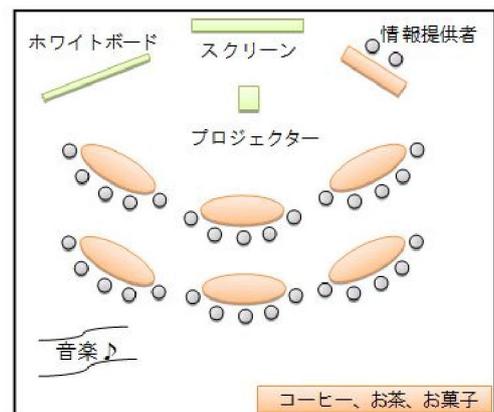
氷を溶かすように、参加者の緊張感を和らげて、話しやすい雰囲気を作るためなどに行うもので、ゲーム形式など様々な手法がある。

### 2 サイエンスカフェ

カフェのような気軽な雰囲気の中で、専門家などからなるべく専門用語を使わないで情報提供を行い、参加者は茶菓を喫食し、質問や意見を自由に出して、知識や視野を広げる。

プログラム例(所要時間: 2時間)

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション
0:10	情報提供(45分程度)
0:55	質問カード記入・休憩
1:10	意見交換(45分程度) (最初に質問カードの内容について情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。)
1:55	アンケート記入・閉会



会場配置例>

## 意見交換会の開催の流れ

### 事前準備

- 開催希望団体は、意見交換会開催希望連絡票（別紙1）を生活衛生課に提出する。
  - ・開催希望日の2か月程度前までに提出する。
  - ・開催時間は、基本的には、サイエンスカフェは2時間、ワークショップは3時間30分程度とする。
  - ・参加人数は20～40人程度とする。
  - ・未定の項目は空欄で提出し、必要に応じて生活衛生課に相談する。
- 生活衛生課は、開催希望団体と日程等を調整し、内容を決定する。  
（参加人数が少ない場合は、参加者の公募を検討する。）
- 開催の3日前までの参加人数がほぼ決定した時点で、開催希望団体は参加人数を生活衛生課に連絡する。
  - （ワークショップの場合は、参加者からファシリテーターを選定し、グループワーク班編制表（別紙2）により班編成を行う。）

### 開催当日

- 開始1時間～30分前から会場設営を開始する。  
（参加者が多い場合や会場が広い場合などには、マイクを使用することが望ましい。）
- 開始30分前から参加者の受付を開始する。
  - ・ワークショップの場合、ファシリテーターの打ち合わせを実施する。
  - ・サイエンスカフェの場合、開始までに参加者に飲み物等の提供を行う。

### 準備品について

開催当日に以下の物を準備する。

準備品	数	準備する者
パソコン	1	生活衛生課
プロジェクター	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
スクリーン	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
延長コード	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
マイク	2	開催希望団体（開催場所があれば使用）
ホワイトボード	1	開催希望団体（開催場所があれば使用）
配布資料	参加人数分	生活衛生課
ワークショップ備の場合 模造紙 カラーマジック 大判ポストイット セロテープ サインペン	グループ数+ グループ数+ グループ数+ グループ数+ 参加人数分	生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体
サイエンスカフェの場合 茶菓 質問用紙 サインペン セロテープ	参加人数分 参加人数分×3枚程度 参加人数分 1	開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体

( FAX : 0 8 3 - 9 3 3 - 3 0 7 9、E-mail : a15300@pref.yamaguchi.lg.jp  
TEL : 0 8 3 - 9 3 3 - 2 9 7 4 )

意見交換会開催希望連絡票

団体・機関名	
担当者	
電話、FAX番号	
メールアドレス	

意見交換会の開催希望について

開催日時	第1希望 平成 年 月 日 ( : ~ : ) 第2希望 平成 年 月 日 ( : ~ : ) 第3希望 平成 年 月 日 ( : ~ : )
場所	開催希望施設を記載ください。施設が未定の場合は、市町単位で記載ください。 ( )
テーマ	いずれかを選択ください。 有害微生物による食中毒の予防 ( ノロウイルス、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌、その他( ) ) 食品添加物、食品中の放射性物質、残留農薬、輸入食品、 遺伝子組換え食品、BSE(牛海綿状脳症)、汚染物質(メチル水銀、カドミウム) 事業者の自主的な取組(事業者との意見交換) その他( )
形式	いずれかを選択ください。 ワークショップ、サイエンスカフェ、その他( )
参加人数	貴団体・機関からの参加人数を記載ください。 ( 人 ) 参加者の公募について、記載してください。 公募する( 人程度)、公募しない
情報提供者	希望があれば記載ください。 ( )
その他 (要望等)	

## グループワーク班編制表

グループ	ファシリテーター	グループメンバー
A		
B		
C		
D		
E		
F		

・各グループの人数は、5～6人程度が望ましい。

平成 25年度の意見交換会（まとめ）

<平成 25年度の開催結果>

意見交換会の開催回数	15回
参加人数	470人

<意見交換会一覧>

No.	形式	開催日	場所	主たる共催団体	テーマ	参加人数
1	ワークショップ	8月 12日	山口市	山口県立大学	食中毒予防	17人
2	サイエンス カフェ	9月 6日	下関市	山口県地域消費者団体連絡協議会	輸入食品	30人
3		10月 16日	田布施町	山口県生活協同組合連合会	食品添加物	23人
4		10月 24日	周防大島町	山口県地域消費者団体連絡協議会	食品添加物	42人
5		10月 28日	下松市	山口県地域消費者団体連絡協議会	食品添加物	24人
6		11月 13日	岩国市	山口県地域消費者団体連絡協議会	食中毒予防	17人
7		11月 18日	山口市	山口県地域消費者団体連絡協議会	輸入食品	25人
8		11月 19日	阿武町	山口県地域消費者団体連絡協議会	食品表示	64人
9		11月 25日	防府市	山口県地域消費者団体連絡協議会	食中毒予防	17人
10		12月 16日	岩国市	山口県PTA連合会	ノロウイルス	46人
11		1月 21日	山口市	山口県地域消費者団体連絡協議会	食品添加物	12人
12		1月 23日	阿武町	山口県食生活改善推進協議会	食品添加物	46人
13		1月 27日	下松市	全国農業協同組合連合会山口県本部	食中毒予防	40人
14		1月 29日	防府市	全国農業協同組合連合会山口県本部	食品添加物	39人
15		1月 30日	光市	山口県地域消費者団体連絡協議会	残留農薬	28人

<内訳>

形式（回数）	ワークショップ（1回） サイエンスカフェ（14回）
開催場所（回数）	下関市（1回）山口市（3回）防府市（2回） 下松市（2回）岩国市（2回）光市（1回） 周防大島町（1回）田布施町（1回）阿武町（2回）

<p>主な共催団体（回数）</p>	<p>山口県立大学（1回）          全国農業協同組合連合会山口県本部（2回）          生活協同組合コープやまぐち（1回）          山口県地域消費者団体連絡協議会（9回）          山口県生活協同組合連合会（1回）          山口県食生活改善推進協議会（1回）          山口県PTA連合会（1回）</p>
<p>テーマ（回数）</p>	<p>食中毒関係（5回）          食品添加物（6回）          食品表示（1回）          輸入食品（2回）          残留農薬（1回）</p>

## 意見交換会事例

No.25-1

形式	ワークショップ形式		
開催日時	平成 25年 8月 12日 (月) 13:00~ 16:00		
場所	山口県立大学 桜翔館 1階 学習室 (山口市桜島三丁目2 - 1)		
共催団体	山口県立大学		
テーマ	学生生活で食中毒にならないためには		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主幹 金重 竜信		
参加人数	17人 (3グループ)	参加者公募	無し
プログラム	13: 00 開会・オリエンテーション・アイスブレイク 13: 40 情報提供 「食品中リスクと予防」(40分) 14: 20 グループワークの進め方の説明 14: 25 グループワーク (65分; グループごとの意見交換) 15: 30 グループ発表 (10分) 15: 40 全体での意見交換 (10分) 15: 50 グループディスカッション (10分) 16: 00 アンケート記入・閉会		
準備	山口県立大学 ・参加者の募集 ・会場確保 ・ファシリテーターの選定、グループ分け ・備品準備 (マイク) 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備 (パソコン、プロジェクター、スクリーン 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・新たな知識を得ることができ、他の参加者と意見交換できて、とても良い経験になりました。今日得た知識を周りに広めていけたら良いなと思いました。 ・専門の方のお話が聞けたことは自分のためになったと思う。また機会があれば参加したい。 ・食中毒という身近な議題について知ることができ、とても興味深かった。予防は基本的なものなので個人の意識を高めれば、防げるものなので気をつけていきたい。		

## 意見交換会事例

No.25-2

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 25年 9月 6日（金） 13:30~ 15:30		
場所	下関東京第一ホテル（下関市赤間町 6 - 2）		
共催団体	山口県地域消費者団体連絡協議会、下関市消費者の会		
テーマ	輸入食品について		
情報提供者	厚生労働省 福岡検疫所 食品監視課 課長 <sup>ところ</sup> 眞也 山口県環境生活部生活衛生課 主幹 金重 竜信		
参加人数	30人	参加者公募	無し
プログラム	13: 30 開会・オリエンテーション 13: 35 情報提供 「検疫所における輸入食品等の監視について」( 45分) 「輸入食品に関する山口県の取組について」( 10分) 14: 30 休憩 ( 15分) 14: 45 意見交換 ( 40分) 15: 25 アンケート記入・閉会		
準備	下関市消費者の会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備（マイク） 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備（パソコン、プロジェクター、スクリーン 等）		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・お茶とお菓子があり、学習内容もよく、また一つ知識の輪を拡げる事ができました。 ・輸入品のスライドが分かり易く良かったと思う。 ・楽しみながら勉強できることがうれしい。 ・質問に対して詳しくお答えいただき、よく分かりました。		

## 意見交換会事例

No.25-3

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 25年 10月 16日（水） 10:00~ 12:00		
場所	コープやまぐち周東センター（熊毛郡田布施町 3059-1）		
共催団体	山口県生活協同組合連合会、生活協同組合コープやまぐち		
テーマ	食品添加物について		
情報提供者	日本食品添加物協会 常務理事 金子 隆		
参加人数	23人	参加者公募	無し
プログラム	<p>10: 00 開会・オリエンテーション</p> <p>10: 10 情報提供 「もっと知ってほしい食品添加物のあれこれ」( 50分)</p> <p>11: 00 質問カードの記入・休憩 ( 15分)</p> <p>11: 15 意見交換 ( 40分)</p> <p>11: 55 アンケート記入・閉会</p>		
準備	<p>生活協同組合コープやまぐち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の募集</li> <li>・茶菓の準備</li> <li>・会場確保</li> </ul> <p>山口県環境生活部生活衛生課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備品準備（パソコン、プロジェクター、スクリーン 等）</li> </ul>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堅苦しくなく、ケーキとお茶を頂きながら、普段疑問に思っていたことも解決できたし、楽しかった。またこのような勉強会があれば参加したい。</li> <li>・消費者は自らもっと勉強して、偏った情報に振り回されないようにしないといけないなど改めて反省を込めて思った。</li> <li>・人数も良くて、お菓子やお茶があったりして良かった。手を挙げての質問はできなくても、カードにすると素直に書けて良かった。</li> </ul>		

## 意見交換会事例

No.25-4

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 25年 10月 24日（木） 13:00~ 14:00		
場所	山口県大島防災センター（周防大島町大字久賀 5066-5）		
共催団体	山口県地域消費者団体連絡協議会、大島郡連合婦人会、周防大島町消費者連絡会		
テーマ	食品添加物について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主幹 金重 竜信		
参加人数	42人	参加者公募	無し
プログラム	13: 00 開会・オリエンテーション 13: 05 情報提供 「食品添加物について」( 40分) 13: 45 質疑応答 ( 10分) 13: 55 アンケート記入・閉会		
準備	大島郡連合婦人会、周防大島町消費者連絡会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保（スクリーン有り） ・備品準備（プロジェクター、マイク） 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備（パソコン 等）		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・食品添加物について、知らないことを勉強できて良かった。 ・食品添加物の管理は良くできているようで安心した。 ・100%安全な食べ物は無いが、量だけは加減して健康に気をつけたいと思う。 ・時間が短かったため、少々サイエンスカフェの気軽さが無い様な気がした。		

## 意見交換会事例

No.25-5

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 25年 10月 28日(月) 10:00~ 11:30		
場所	ほしらんどくだまつ(下松市大手町三丁目 3番 3号)		
共催団体	山口県地域消費者団体連絡協議会、下松消費者連絡会		
テーマ	食品添加物について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主幹 金重 竜信		
参加人数	24人	参加者公募	無し
プログラム	10: 00 開会・オリエンテーション 10: 05 情報提供 「食品添加物について」( 50分) 10: 55 質問カードの記入・休憩( 10分) 11: 05 意見交換( 20分) 11: 25 アンケート記入・閉会		
準備	下松消費者連絡会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保(スクリーン有り) ・備品準備(マイク) 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備(パソコン、プロジェクター 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・カフェなのでお茶を頂きながらの雰囲気も和やかな感じでとても楽しく参加できました。 ・たくさんの意見が出て、なるほどと思う事があった。分かっているようでなかなか知らない事が多く、勉強になった。 ・今までにも2~3回参加しています。とても楽しいお勉強会だと思う。これからもどんどん参加したい。		

## 意見交換会事例

No.25-6

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 25年 11月 13日（水） 13:30~ 15:30		
場所	山口県岩国総合庁舎 共用第 3会議室		
共催団体	山口県地域消費者団体連絡協議会、岩国消費者連絡会		
テーマ	ノロウイルス等の食中毒の予防について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主幹 金重 竜信		
参加人数	17人	参加者公募	無し
プログラム	<p>13: 30 開会・オリエンテーション</p> <p>13: 40 情報提供 「ノロウイルス等の食中毒の予防について」( 45分)</p> <p>14: 25 質問カードの記入・休憩 ( 15分)</p> <p>14: 40 意見交換 ( 45分)</p> <p>15: 25 アンケート記入・閉会</p>		
準備	<p>岩国消費者連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の募集</li> <li>・茶菓の準備</li> </ul> <p>山口県環境生活部生活衛生課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場確保 (スクリーン有り)</li> <li>・備品準備 (パソコン、プロジェクター 等)</li> </ul>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気楽に参加しやすい。</li> <li>・1年中食中毒はあるということが分かった。</li> <li>・ニュースで聞くよりも、資料をもらい聞いて勉強できると自分で気をつけることができる。</li> <li>疑問の解答も聞けて良いと思います。</li> </ul>		

## 意見交換会事例

No.25-7

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 25年 11月 18日(月) 13:30~ 15:30		
場所	小郡地域交流センター(山口市小郡下郷 609番地 1)		
共催団体	山口県地域消費者団体連絡協議会、小郡消費者団体連絡協議会		
テーマ	輸入食品について		
情報提供者	厚生労働省 福岡検疫所 食品監視課 課長 處 眞也 山口県環境生活部生活衛生課 主幹 金重 竜信		
参加人数	25人	参加者公募	無し
プログラム	13: 30 開会・オリエンテーション 13: 40 情報提供 「検疫所における輸入食品等の監視について」(45分) 「輸入食品に関する山口県の取組について」(5分) 14: 30 質問カードの記入・休憩(15分) 14: 45 意見交換(40分) 15: 25 アンケート記入・閉会		
準備	小郡消費者団体連絡協議会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備(プロジェクター、スクリーン、マイク) 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備(パソコン 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・平素不安に感じていたことが良く分かりました。 ・小郡消団連として、初めての試みでしたが良かったと思います。もっとたくさんの方に参加して聞いてもらいたいと思いました。 ・ニックネームで質問・意見が出せて自分の思う様な質問ができて良かった		

## 意見交換会事例

No.25-8

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 25年 11月 19日（火） 12:45~ 14:15		
場所	阿武町のうそんセンター（阿武郡阿武町福田下 1365）		
共催団体	山口県地域消費者団体連絡協議会、阿武町消費者団体連絡協議会		
テーマ	食品表示について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主任技師 松井 宜夫		
参加人数	64人	参加者公募	無し
プログラム	<p>12: 45 開会・オリエンテーション</p> <p>12: 50 情報提供 「食品表示について」( 45分)</p> <p>13: 35 質問カードの記入・休憩 ( 15分)</p> <p>13: 50 意見交換 ( 20分)</p> <p>14: 10 アンケート記入・閉会</p>		
準備	<p>阿武町消費者団体連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の募集</li> <li>・茶菓の準備</li> <li>・会場確保（スクリーン有り）</li> <li>・備品準備（プロジェクター、マイク）</li> </ul> <p>山口県環境生活部生活衛生課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備品準備（パソコン 等）</li> </ul>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の表示は自分の知らないことばかりで大変勉強になりました。</li> <li>・ザックバランで、お茶もお菓子もあるので良いと思う。</li> <li>・年1回、このような会を設けてもらいたい。</li> <li>・手を挙げて言うのは少し恥ずかしいので、カードでの質問コーナーはとても良かったです。</li> </ul>		

## 意見交換会事例

No.25-9

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 25年 11月 25日（月） 13:30~ 15:30		
場所	ルルサス防府（防府市栄町一丁目 5番 1号）		
共催団体	山口県地域消費者団体連絡協議会、防府市消費生活研究会		
テーマ	ノロウイルス等の食中毒の予防について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主幹 金重 竜信		
参加人数	17人	参加者公募	有り
プログラム	<p>13: 30 開会・オリエンテーション</p> <p>13: 40 情報提供 「ノロウイルス等の食中毒の予防について」( 45分)</p> <p>14: 25 質問カードの記入・休憩 ( 15分)</p> <p>14: 40 意見交換 ( 45分)</p> <p>15: 25 アンケート記入・閉会</p>		
準備	<p>防府市消費生活研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の募集（公募）</li> <li>・茶菓の準備</li> <li>・会場確保</li> </ul> <p>山口県環境生活部生活衛生課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備品準備（パソコン、プロジェクター、スクリーン 等）</li> </ul>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい映像と手元の一致した資料と大きい文字で、本当に理解しやすかったです。勉強になりました。</li> <li>・表面的な事は分かってはいますが、もっと深く掘下げた事が聞けて勉強になります。</li> <li>・ノロウイルスについて今まで知らなかった事も良く分かり参加して良かったと思いました。もう少し多くの人に参加していただくと良かったなと思いました。</li> </ul>		

## 意見交換会事例

No.25-10

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 25年 12月 16日 (月) 10:00~ 12:00		
場所	岩国市中央公民館 (岩国市岩国 4-4-15)		
共催団体	山口県 PTA連合会、岩国市 PTA連合会		
テーマ	ノロウイルス...母としてできること		
情報提供者	国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部 第四室長 野田 衛		
参加人数	46人	参加者公募	無し
プログラム	10: 00 開会・オリエンテーション 10: 10 情報提供 「ノロウイルス...母としてできること」( 50分) 11: 00 質問カードの記入・休憩 ( 15分) 11: 15 意見交換 ( 40分) 11: 55 アンケート記入・閉会		
準備	岩国市 PTA連合会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備 (スクリーン、マイク) 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備 (パソコン、プロジェクター 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・まずは自分でできる手洗い、うがい、加熱をきちんとやって、ノロにかからないようにしたいと思います。 ・今まで詳しく理解していなかったことが理解できたし、毎日の生活や職場で活かせると思いました。 ・大変良い機会を頂きました。お茶を飲みながらというリラックスした雰囲気も大変良かった。		

## 意見交換会事例

No.25-11

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 26年 1月 21日（火） 13:30~ 15:00		
場所	山口市役所阿東総合支所（山口市阿東徳佐中 3417番地 2）		
共催団体	山口県地域消費者団体連絡協議会、山口市阿東消費者連絡協議会		
テーマ	食品添加物について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主幹 金重 竜信		
参加人数	12人	大雪のため、参加者が少なかった。	参加者公募 無し
プログラム	13: 30 開会・オリエンテーション 13: 35 情報提供 「食品添加物について」( 50分) 14: 25 質問カードの記入・休憩 ( 10分) 14: 35 意見交換 ( 20分) 14: 55 アンケート記入・閉会		
準備	山口市阿東消費者連絡協議会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保  山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備（パソコン、プロジェクター、スクリーン 等）		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・学ぶ場所がない者にとって、いい会であったと思う。 ・いろいろな意見や質問が出てよく分かる様にしてもらって良かった。 ・添加物に対する不安がありましたが、詳しい説明で余り心配せずに食品と向き合えると思いました。		

## 意見交換会事例

No.25-12

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 26年 1月 23日（木） 9:20~ 10:30		
場所	阿武町ふれあいセンター（阿武郡阿武町大字宇田 2224）		
共催団体	山口県食生活改善推進協議会、阿武町食生活改善推進協議会		
テーマ	食品添加物について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主幹 金重 竜信		
参加人数	46人	参加者公募	無し
プログラム	<p>9: 20 開会・オリエンテーション</p> <p>9: 30 情報提供 「食品添加物について」( 50分)</p> <p>10: 20 質疑応答 ( 10分)</p> <p>10: 30 アンケート記入・閉会</p>		
準備	<p>阿武町食生活改善推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の募集</li> <li>・茶菓の準備</li> <li>・会場確保（スクリーン有り）</li> <li>・備品準備（プロジェクター、マイク）</li> </ul> <p>山口県環境生活部生活衛生課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備品準備（パソコン 等）</li> </ul>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品添加物は身体に良くないという考えでしたが、安全性を確かめられ使用されていることを知り安心しました。私たちはもっと知識をつけ、理解する必要があると思いました。</li> <li>・遠慮せずにお茶を飲みながら講演がきけるのは初めての経験で、とても良かったと思います。できれば個装していないお菓子のほうが音もせず良かったのでは</li> </ul>		

## 意見交換会事例

No.25-13

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 26年 1月 27日（月） 13:30~ 15:30		
場所	JA周南本所（下松市西柳二丁目 3番 48号）		
共催団体	全国農業協同組合連合会山口県本部、JA周南		
テーマ	ノロウイルス等の食中毒の予防について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 調整監 中村 雅美		
参加人数	40人	参加者公募	無し
プログラム	13: 30 開会・オリエンテーション 13: 35 情報提供 「ノロウイルス等の食中毒の予防について」( 50分) 14: 45 意見交換 ( 40分) 15: 25 アンケート記入・閉会		
準備	JA周南 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備（スクリーン、マイク） 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備（パソコン、プロジェクター 等）		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・今日の意見交換会はとても良かった。いろいろなテーマについて勉強したい。機会があったらまた何度かに分けて勉強したい。 ・茶菓子を食べながらなので、難しくなく、堅苦しくなかった。 ・食中毒のおそろしさを改めて知りました。予防の重要性を知り、実行していこうと思います。特にノロウイルスは勉強になりました。		

## 意見交換会事例

No.25-14

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 26年 1月 29日（水） 13:30~ 15:30		
場所	JA防府とくぢ（防府市中央 4-1）		
共催団体	全国農業協同組合連合会山口県本部、JA防府とくぢ		
テーマ	食品添加物について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主任技師 松井 宜夫		
参加人数	39人	参加者公募	無し
プログラム	<p>13: 30 開会・オリエンテーション</p> <p>13: 40 情報提供 「食品添加物について」( 50分)</p> <p>14: 30 質問カードの記入・休憩 (15分)</p> <p>14: 45 意見交換 ( 40分)</p> <p>15: 25 アンケート記入・閉会</p>		
準備	<p>JA防府とくぢ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の募集</li> <li>・茶菓の準備</li> <li>・会場確保</li> <li>・備品準備（プロジェクター、スクリーン、マイク）</li> </ul> <p>山口県環境生活部生活衛生課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備品準備（パソコン 等）</li> </ul>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気楽に話を聞くことができ、とても良かった。</li> <li>・できれば午前中がいいですね（午後は眠くなりますから。）</li> <li>・食生活推進委員として、楽しくバランスのとれた食生活を皆様に推進しています。こういう機会があれば参加したいと思います。</li> </ul>		

## 意見交換会事例

No.25-15

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 26年 1月 30日(木) 13:30~ 15:30		
場所	光市地域づくり支援センター(光市島田四丁目 14番 3号)		
共催団体	山口県地域消費者団体連絡協議会、光市消費者の会		
テーマ	残留農薬について		
情報提供者	内閣府食品安全委員会事務局勧告公報課 リスクコミュニケーション専門官 間瀬 徹 山口県環境生活部生活衛生課 主幹 金重 竜信		
参加人数	28人	参加者公募	無し
プログラム	13: 30 開会・オリエンテーション 13: 40 情報提供 「残留農薬について ~野菜や果物をおいしく食べるため~」(50分) 「農産物の安全性の確保」(10分) 14: 40 質問カードの記入・休憩(15分) 14: 55 意見交換(30分) 15: 25 アンケート記入・閉会		
準備	光市消費者の会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保(スクリーン有り) ・備品準備(マイク) 山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備(パソコン、プロジェクター 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・農薬とか女性には難しい話も、コーヒーなどあり、あっという間に時間も経ち良かった。 ・大変勉強になりました。友達にも聞かせてあげたいと思った。 ・難しい内容でしたが、農薬についてはあまり気にしないで買う・使うことができると思いました。		